

コンカード横浜

CONCURRED YOKOHAMA

No. 12-007-2010更新
新築
事務所

発注者	金港町キャピタル特定目的会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO ₂ 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	(総合デザイン監修) 矢萩喜徳郎建築計画 大成建設一級建築士事務所	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	大成建設株式会社	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

地域環境に開かれたテナントオフィスビル

魅力的な外部公共空間の創造

横浜駅の北東側に位置する横浜ポートサイド地区の玄関口に位置する。地区計画「街づくり協定」に定める「アート&デザインの街」にふさわしい街づくりに適合させることにより容積認定を受け、100%の容積率割り増しを受け、高い事業性の確保を実現している。

敷地内の建物周囲には、オープンスペースを大きく確保しており、北側高速道路側には、緑地帯や彫刻のある庭園を配置し南側には店舗に面して歩道上の空地を設けている。また、駅からのエントランスとなる空間には、大屋根に覆われた半外部空間を設け、周辺住民が通り抜けることも可能となり、開かれた魅力ある外部共用空間となっている。

外観は、横連窓による端正な表情とし、PC板に打ち込まれた2色の石によるボーダーのずれにより、横浜の波をイメージするデザインとしている。また中間部のボーダーを1層抜くことにより地区計画で定められた3層構成を表現している。横連窓とすることで開口部を絞り、ガラスをペアガラス（熱線吸収ガラス）とすることで、空調負荷を減らし省エネルギーに貢献している。



外観



西側メインアプローチ



北側外構

高い機能性を持った事務所空間

基準階は、奥行き18m、間口100mという整形な大空間事務所であり、面積1,800㎡の事務所を最大7分割まで想定している。100mmのOAフロア、グリッドタイプのシステム天井、天井高2.8mとテナント事務所として求められる更新性、フレキシブル性を考慮した設計となっている。高さ1.8mの開口部からは、北側には山の手の眺望が広がり、南側には海側の眺望も確保され、事務所空間としての高い居住性も有している。

構造は、制震ブレース及び制震間柱をバランスよく配置し、居住性及び耐震安全性の向上を図っている。地震エネルギーを吸収し、建物全体の揺れを抑えることが可能となる。

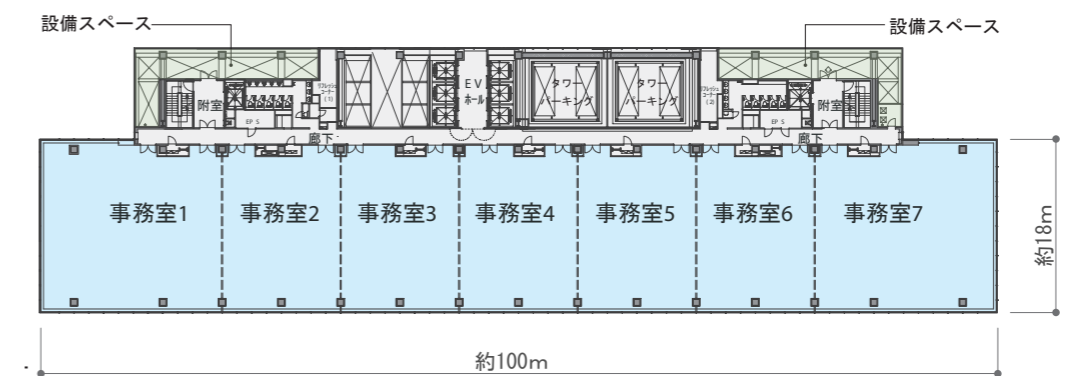
空調方式は、各階パッケージ方式とし、設備スペースを各階に設け室外機を設置した。空調用縦ダクト等この設備スペースに集約し、メンテナンス性を高めている。換気はセントラル換気とし、テナント毎に取り付けた風量制御装置と外気処理機のインバータ制御により、空調だけでなく換気も個別対応が可能となる。



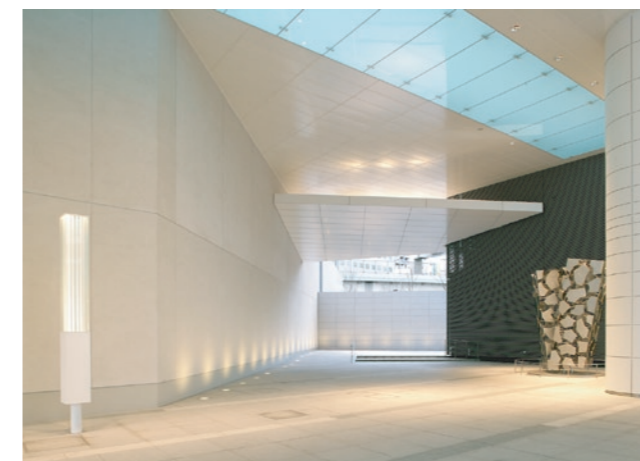
事務所内観

設計担当者

(総合デザイン監修) 矢萩喜徳郎建築計画 矢萩喜徳郎、増田忠史
大成建設一級建築士事務所 建築：伊勢季彦、花村明秀 / 構造：田中勉、新田隆雄、小林治男 / 設備：高木健、小林徹也、八田良行、久保田宗人



基準階平面図 (S:1/800)



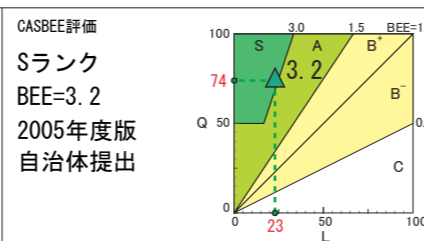
エントランス前の大屋根空間



メインアプローチ

建物データ	
所在地	神奈川県横浜市神奈川区
竣工年	2008年
敷地面積	7,156.58㎡
延床面積	55,712.56㎡
構造	鉄骨造
階数	地下1階、地上20階

省エネルギー性能	
PAL削減	20%
ERR (CASBEE準拠)	31%



主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q2. 2. 耐用性・信頼性 (制震装置の導入、屋上設備機器の耐塩害仕様、タイル打込PC板)
- Q2. 3. 対応性・更新性 (荷重のゆとり、高い階高、設備バルコニーの設置)
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (建物周囲の空地の確保、緑地の確保)
- LR1. 4. 効率的運用 (BEMSの導入による熱源機器の効率的な運用・適切な維持管理計画)
- LR2. 1. 水資源保護 (節水型機器、雨水利用)
- LR3. 2. 地域環境への配慮 (屋上緑化、公開スペースの整備、地上部緑化)